

学校等関係の皆様

東京都立富士高等学校長
東京都立富士高等学校附属中学校長
野村 公 郎

令和 3 年度東京都立富士高等学校 スーパーサイエンスハイスクール (SSH)
「富士未来学」探究発表会及びテキスト開発成果発表会 最終案内

本校では、令和 3 年度から 5 年間の SSH の指定を受け、6 年間を一気通貫する課題研究「富士未来学」に挑戦する中高一貫理数教育カリキュラムの研究開発等、様々な取組を行っております。

このたび SSH の研究開発の成果発表の機会として、下記のように「富士未来学」探究発表会及びテキスト開発成果発表会を開催しますので、どうぞご参観ください。

- 1 日 時 令和 4 年 2 月 1 6 日 (水) 午後 1 時 受付
午後 1 時 2 0 分から午後 4 時 2 0 分まで 探究発表会
午後 2 時 2 0 分から午後 3 時 2 0 分まで テキスト開発成果発表会
※探究発表会と並行してテキスト開発成果発表会を行います。
- 2 会 場 東京都立富士高等学校 東京都立富士高等学校附属中学校
〒1 6 4 - 0 0 1 3 東京都中野区弥生町五丁目 - 2 1 - 1
(東京メトロ丸ノ内線中野富士見町駅下車徒歩 1 分)
- 3 実施形態 会場での参加またはオンラインによるハイブリッドによる参加
すでに参加申し込みフォームにて対面で申し込みをいただいている方で、オンライン
への変更を希望する方は、お知らせください。
- 4 内 容 探究発表会 中学 1 学年から高校 2 学年までのポスターセッション (対面のみ)
中学 1 年生から高校 2 年生までの代表生徒による口頭発表 (オンライン
配信)
テキスト開発成果発表会 課題研究のテキストの実践発表
- 5 講 評 学校法人桐蔭学園理事長、桐蔭横浜大学学長・教授
本校 IR 外部評価委員・SSH 運営指導委員 溝上慎一先生
- 6 申込方法 参加申し込みフォームはこちら → <https://forms.office.com/r/xUeBhEgXaw>
URL かバーコードから申し込みフォームへの入力をお願いします。
会場でのご参加の定員 5 0 名 オンラインでのご参加の定員 3 0 0 名
- 7 参加方法 お申込みいただいた方のみ、メールでお送りする URL から発表会の視聴が可能と
なります。当日は午後 1 時 2 0 分より入室可能です。終了後、「事後アンケート」へ
のご回答の協力をお願いします。



時程	探究発表会	テキスト開発成果発表会	オンライン
13:00	受付開始		
13:30	開会式 於多目的ホール 司会：本校係生徒 1. 校長挨拶 2. 諸注意 3. 代表発表・質疑応答 *本校科学探究部代表による発表を2つご覧いただきます。		オンライン会議①「開会式」
13:55 14:15	ポスター発表 第1グループ発表開始 於 2階から4階の各教室	14:00 多目的ホール開場	オンライン会議②「各学年発表」 各学年の発表をそれぞれの会議から視聴できます。
14:20 14:40	ポスター発表 第2グループ発表開始 於 2階から4階の各教室	14:20 テキスト開発成果発表会開会 14:21 校長挨拶 14:25 テキスト開発成果報告	オンライン会議③ 「テキスト開発成果発表会」
14:45 15:05	ポスター発表 第3グループ発表開始 於 2階から4階の各教室	14:45 質疑応答 15:00 講評 学校法人桐蔭学園理事長 桐蔭横浜大学学長・教授 I R外部評価委員・SSH運営指導委員 溝上慎一先生	
15:10 15:30	ポスター発表 第4グループ発表開始 於 2階から4階の各教室	15:20 テキスト開発成果発表会終了	
15:35 15:55	ポスター発表 第5グループ発表開始 第5グループ発表終了		オンライン会議④「各学年発表」 各学年の発表をそれぞれの会議から視聴できます。
16:20	発表会終了		

*オンライン会議①～④についてはそれぞれのURLからご参加いただき、ご視聴ください。

富士未来学テキスト例

富士未来学Ⅳ
- 課題発見講座Ⅲ

課題発見講座Ⅲでできるようになること
ワークショップをとおして課題発見の手法を身に付けることができる。
先行論文の探し方や整理の仕方、読解の仕方を学ぶこととおして、課題を見いだす方法を身に付けることができる。

課題発見講座Ⅲで学ぶこと
課題発見の手法をワークショップをとおして学ぶ。
先行論文や文献の探し方や整理の仕方を学ぶ。
先行研究となる科学論文の読解から課題を見いだす方法を学ぶ。

月 日 ()

東京都立富士高等学校
東京都立富士高等学校附属中学校

SSH
Super Science High School

高校1年 組 番 氏名

意味付け、関係付けには、日々違いに気づいたり、分類したり、比較したりする操作や、観察している対象とすでに知っていることを関係づける操作があります。このように思考することで「**新たな価値が創造**」されます。

図1 思考(考える)とは

あなたのこれまでの「思考」の体験を書き出してみましょう。

探究活動に必要な資質・能力を適時に育成する講座を独自テキストを用いて展開しています。

富士未来学 I ～VIの6年間の指導計画

	1 学期	夏休み	2 学期	3 学期	
中学1学年 富士未来学 I 35時間	探究合宿 課題発見講座Ⅰ★		データ分析講座Ⅰ★ プレゼン講座Ⅰ★	ポスター作成(手書き)	富士未来学発表会(一回目) 全校一斉実施
中学2学年 富士未来学Ⅱ 35時間	研究倫理講座 課題発見講座Ⅱ★ データ分析講座Ⅱ★		プレゼン講座Ⅱ★ 英語合宿	ポスター作成★	
中学3学年 富士未来学Ⅲ 70時間	探究基礎講座★		データ分析講座Ⅲ★	プレ課題研究(ゼミ活動)発表スライド作成★	
高校1学年 富士未来学Ⅳ 2単位	課題発見講座Ⅲ★ 質問紙講座Ⅰ★		研究計画書講座★ 課題研究★(ラボ活動) 異学年交流	課題研究★(ラボ活動) 異学年交流 ポスター作製 異学年交流	
高校2学年 富士未来学Ⅴ 2単位	質問紙講座Ⅱ★ 統計分析講座★ 課題研究★(ラボ活動)	海外探究研修	課題研究★(ラボ活動) 異学年交流 アカデミック・ライティング講座Ⅰ★	課題研究★(ラボ活動) 異学年交流	
高校3学年 富士未来学Ⅵ 1単位 選択2単位	課題研究★(ラボ活動)論文作成(英語) アカデミック・ライティング講座Ⅱ★ ポスター改善★		課題研究を各自の進路に生かす主体的な活動 下級生の研究に関する質問に個別に対応	異学年交流	

★を付けた講座は、生徒のICT機器の活用をベースに実施

課題研究強化週間

【問い合わせ】

東京都立富士高等学校

電話 03-3382-0601

副校長 上村 礼子

メール Reiko_Kamimura@member.metro.tokyo.jp